

プロジェクト07-1,2 アルペンルートの開業日について

(株)立山黒部貫光

(1) 第2回 ワーキンググループ以降の取り組み

9月14日～11月1日 関係諸団体と協議
※立山山荘協同組合、NPO法人富山県自然保護協会、
NPO法人立山自然保護ネットワーク、雷鳥研究会 他



(スケジュールイメージ)

H29.11

検討・調整・データ収集

H30.4

ルールに基づく開業・データ収集及び検証



(2) 開業日のルール化について

- 開業日については、これまでのワーキンググループにおいて次のようなご意見をいただいた
 - ① 時間をかけてデータ収集を行い、科学的に実証された提案であればよい。
 - ② 安全性に加え、除雪能力の確保・向上も課題
 - ③ 安全性の確保については、除雪関係だけでなくスキーヤーなどの安全性確保も含めて検討が必要。
- これらの意見を踏まえ、関係者と調整した結果、当面の間は4月15日(今年度と同日)に全線開通することとした
- 併せて、開業日の検討を行ううえでは、安全性の確保が大前提となることから、気象データ等の収集及び検証を実施することとする

(3) 気象データ等の収集・検証について

＜既に実施している内容＞・・・多くのデータを集めるため、11月下旬から調査を実施

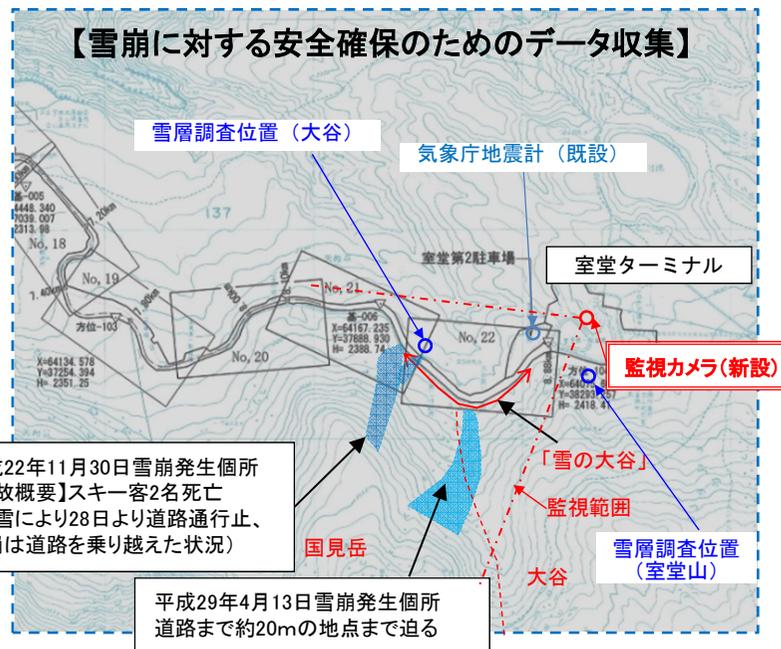
- ①気温、風向風速、相対湿度、放射収支、積雪深
- ②雪層の観測
- ③監視カメラによる観測(簡易カメラ)

＜今後予定している内容＞

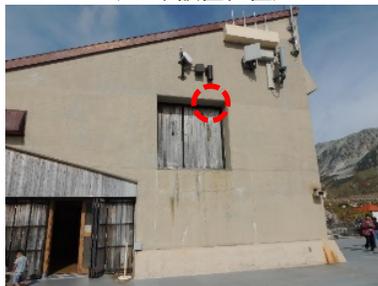
- (上記①～③に加え、)
- ④監視カメラ(高感度カメラ)の設置を検討
 - ⑤地震計による観測(研究)

＜検証方法＞

調査内容の検証、研究については、室堂において観測を行っている富山県山岳遭難対策協議会の「立山地区雪崩安全対策研究会」に協議し、助言をいただく予定。



(カメラ設置位置)



(カメラ撮影範囲)



平成29年4月13日発生
「雪の大谷」の雪崩発生位置



(雪層観測状況)

